

区民と区長のタウンミーティング グループワーク意見

	1班	2班	3班	4班	5班
町会の防災活動	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の防災担当者、高齢化、訓練を見るだけでも良いが、積極的ではない。 町会の防災会で高齢者の面倒を見てくれというが、町会も高齢化していて全てはできない。 地域の高校にも協力してほしいが、校長先生の考え次第で変わる。 防災訓練には限られた人しか出てこない。 小さい子どもにも防災訓練の時に、できることをやってもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の活性化 助けを求められない高齢者が問題(要支援者名簿区に提出しているが誰が助けに来てくれるか不明) 区の地域防災計画の中にも「地域防災行動力の向上」項目あり。現状と望ましいあり方との差を埋める具体的行動計画を作る。 災害発生しても中野区は、水害というよりは火事の時、どうするか。 町内会の活性化(回覧板回し・アパート住民の協力) 		<ul style="list-style-type: none"> 町会が集まりにくい。 →「防災」の名のもとに集まる防災会を各地区にも設立してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 町内で決める防災ルールがあるのか知りたい ハザードマップは自宅に持たれているか？(町内で読み合わせたことあるか) 一人では絶対できない部分が多い！ →地域のつながりが無い→民生委員が知っている
高齢者の避難や防災の備え	<ul style="list-style-type: none"> 日中、住まいの近くにいない時の対応をあまり考えない。 高齢者会館で来場者に防災の話をしてもらいたいと思っ ている人が多い。誰かが助けてくれと思っている。 ・発災直後3日間くらいは公助がないのでその間、自助・共助が大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に遭った際の高齢者の移動について、災害が落ち着いてからの高齢者の買い物など車自分で運転できない。 ・高齢者でも健康な人はいいが、車椅子の方などの避難 ・帰宅困難者対策・足(車)の確保 ・大震災時自分の身の安全・家族の身の安全・近隣の身の安全 ・塀が崩れてきたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の避難所への誘導をどうするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①倒壊しにくい住宅 ・中にいて安全な状況をつくる →家具転倒防止 ・講習会 ・器具(費用発生) ②倒壊の可能性大 ・避難のお手伝いが必要 ・道具・車いす・ジリキ(費用発生) ※どこに高齢者がいるのかを把握しなければいけないが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・公助、共助、自助が必要であるが、共助は言葉だけが一人歩きし、実体が十分ともなわない。 ・高齢者がどれだけ震災について自覚しているか →震災の防災対策してるか？ ・鷺宮地区に年寄りが多い。他の区と比べると？ →より客観的な危機意識の醸成が必要 ・高齢者を抱える家族の自覚、対策は ・高齢者世帯のリスト作成(見守り合いにつなげる) ・自分で動けない人への防災意識をどう伝えるか
日頃からのつながり			<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災の観点からプライバシー保護があまり前にできると、防災の足かせとなる。互いを知って、防災にあたる仲間意識があつて良いと思う。 ・普段の意識 ・外国人労働者への連絡方法 		<ul style="list-style-type: none"> ・普段からの声かけの難しさ
避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の収容人数と周辺人数のアンバランス ・鷺宮スポーツコミュニティプラザの収容人数200人は少なすぎでは？帰宅困難者も来る。 ・避難所の収容人数は実態と合っていないのではないか。帰宅困難者も多い。 ・避難所に集まりすぎると大変だが、情報が無いので避難所に行かざるを得ない。 ・公社住宅、女性・単身・高齢者・外国人が多い。築60年、建て替え進まない。エレベーターない。鷺宮スポーツコミュニティプラザの収容人数200人は少なすぎる。 ・避難所で一番問題になるのはトイレ。トイレ担当の衛生班を作る必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報の確保 		
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の確保、鷺宮小及び西中野小合併跡地 ・小学校の跡地などを公園に(避難場所確保) ・地域防災にあたっての公園・広場の重要さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・町別高齢化率が白鷺・若宮地区がNO1・2との説明に驚いた。もっと自分のこととして取り組むことの大切さを知った。 ・超高齢社会に関して言えば、地域包括支援センターの担当エリアが偏り。 ・資料の数字(%・人数) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地震…推定6弱 △水害…現状起きていないもの考える必要あり(妙正寺川)を想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・町別の高齢化が進んでいる地域であることに驚いた。 ・どなたか知識のある方への質問。近年電柱の架線が増えているが、安全性は大丈夫か。 ・単身高齢者の地域交流に誘い出すこと。特に男性 →麻雀とか ・古い集合住宅が多いと →町会に入っていない →駅近、一人暮らしアパートの年寄りも多い →情報が伝わらない。※一方で見守りリストもある。 ・危機認識醸成のための情報共有の必要性！！ ・危機とは？ →例えば今震度7の地震が東京直下で起きたら？ →皆さん気にしておきましょう！ ・一方で何で(タウンミーティングに参加したの)！？ →地区が好きだ！→同窓会でタウンミーティングをや